

第17回サクラ病理技術賞 公募のお知らせ

募集期間 2024年10月15日(火)~2025年1月10日(金)

つなげよう、その取り組みを “病理技術の未来”へ



<第16回受賞者>

大久保 文彦 氏(九州大学病院 病理診断科・病理部)

サクラ病理技術賞 選考委員長 ご挨拶

牛久 哲男 先生(東京大学大学院 人体病理学・病理診断学 教授)

第16回より、新たにサクラ病理技術賞の選考委員長に就任いたしました。病理を取り巻く環境は今、がんゲノムやAI・デジタル化など、まさに大きな変化の中にあります。これをチャンスであり追い風と捉え、病理に携わる皆さまとともに病理技術の発展に取り組んでまいりたいと考えております。

本賞は、病理技術者およびその団体または研究者の学術研究、日常業務での技術・知識の向上、後進技師の育成(技術の伝承)、地域医療への顕著な貢献など、幅広い実績を対象とした表彰制度です。選考委員一同、皆さまのご応募を心よりお待ちしております。

【牛久哲男先生 略歴】

2000年東京大学医学部医学科卒。マサチューセッツ総合病院リサーチフェローを経て、2013年東京大学大学院 人体病理学・病理診断学 准教授に就任、2019年より現職。専門分野は消化器病理。



サクラ病理技術賞は自薦による公募制です。
皆様のご応募をお待ちしています。



第17回サクラ病理技術賞 公募について

- 対象 1. 病理細胞診における標本作製技術の探求(研究論文)
2. 学術研究以外の幅広い活動・研究
① 日常業務での技術・知識の向上
② 後進技師の育成・標本作製技術の伝承
③ 地域医療への顕著な貢献
- 対象者 病理(病理組織および細胞診)標本作製を主たる業務としている方、または病理標本作製技術や病理検査室業務への貢献をめざして活動している研究者・技術者、あるいはこれらの団体で、国家資格の有無は問いません。なお医師および歯科医師は含みません。
- 応募 ・「募集要項」をご確認の上、応募に関する書類は規定の用紙をご使用ください。
(サクラファインテックジャパンのWebサイトよりダウンロードしてご使用ください。)
https://www.sakura-finetek.com/about-us/byourigijyutu_syoubu/koubo
・必ず施設長の同意ならびに推薦を得て下記事務局へ提出してください。
- 選考 サクラ病理技術賞選考機構から任命された選考委員(非公開)による

■ 表彰 **サクラ病理技術賞**
染色全般や細胞診断法などの標本作製技術の開発・改良、コンパニオン診断やゲノム医療、デジタルパソロジーなどに代表される先進的医療、病理診断を補完する標準化や精度管理、安全管理の推進、または、AI、コンピュータシステム等の新しい技術導入への画期的な取り組みなど、病理検査室業務全般における進歩・発展に著しく貢献した方やグループを表彰します。

サクラ病理技術賞 奨励賞

全国、地方に関わらず地域医療や学生教育、技師の卒後教育に貢献するなど、論文数や論文内容による評価が難しい分野での貢献が顕著である方やグループを表彰します。

サクラ病理技術賞 新人賞

サクラ病理技術賞および奨励賞に準ずる研究や活動をおこなっている若手技師で、特に今後の活躍が期待できる方を表彰します。

サクラ病理技術賞 松本賞

これまでにサクラ病理技術賞もしくは奨励賞、新人賞、特別賞のいずれかを受賞された方を対象に、特に画期的で、これからの新たな方向性を示すと考えられる研究や活動に対して表彰します。なお、これまでの受賞歴に関係なく、当該年度の技術賞および奨励賞に応募された候補者の中から本賞の受賞者を選考する場合があります。

*いずれの賞においても該当者がいない場合は選考しません。

- 日程 ・募集開始 2024年10月15日(火)
・締切日 2025年 1月10日(金) 当日消印有効
・選考・発表 2025年 4月(予定)
・授賞式 2025年 夏(予定)

応募に際し、「募集要項」記載の「注意事項」、「記入要領」等をご確認の上、必要書類をご準備ください。
ご不明の点などがございましたら下記の問い合わせ先までお問い合わせください。

■ サクラ病理技術賞 応募・問い合わせ先(事務局)

〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町2-31-1 浜町センタービル
サクラファインテックジャパン株式会社内 サクラ病理技術賞事務局
E-mail:jimukyoku@sakura-finetek.com
(※件名は「第17回サクラ病理技術賞公募」として下さい)

サクラファインテックジャパン株式会社

東京都中央区日本橋浜町 2-31-1 浜町センタービル
www.sakura-finetek.com

